

※本講義は4/22日開講、大学からの指示のある期間中、オンラインにて行います。

※オンライン講義の準備は下記リンクを参照してください。

<https://utelecon.github.io/oc/>



受講生募集中

Sセメスター 水曜4限(14:55-16:40)

本郷キャンパス東洋文化研究所3階第2会議室

担当教員 後藤 絵美 (ASNET)・梅崎 昌裕(医学系研究科)

対象 東京大学の大学院生

科目番号 31M/D220-1355S

※日程および内容は変更する場合があります。
HP(左上QRコード)でご確認ください。

アジアのフィールドワーク論

(地域文化研究特殊研究Ⅲ)

記憶×人×環境——調査に伴う困難とどう向き合うか

多様な学問分野・対象地域を専門とするアジア研究者や実務者の経験や議論を参照しつつ、フィールドワークについて学ぶ。フィールドワークの方法論として、視点の定め方、対話の技法、データの整理等、具体的な事例を通して学ぶとともに、実践として複数のフィールドワークに挑戦する。

人と記憶のフィールドワーク [コーディネーター:板橋 暁子(東洋文化研究所)]

第1回 (4/8) 休講

第2回 (4/15) オリエンテーション資料配布 (UTASおよびITC-LMSを確認のこと)

第2回 (4/22) 総論「もうひとつの戦場」をフィールドワークする
(真鍋 祐子/東京大学)

第3回 (4/29) 各論1「精神病床をとりまく人々の記録と歴史:戦時下の陸軍病院を事例に」
(中村 江里/慶應義塾大学(学振特別研究員PD))

第4回 (5/13) 実習「女たちの戦争と平和資料館」(新宿区、<https://wam-peace.org/>)

第5回 (5/20) 各論2「暴力の「記憶」と現地社会:フィリピン・セブ州コルドバ町から熊本県天草市へ」
(岡田 泰平/東京大学)

第6回 (5/27) 各論3「中国における日本軍戦時性暴力:遅れてきたフィールドワーカーとして」
(熱田 敬子/早稲田大学)

人と環境のフィールドワーク [コーディネーター:梅崎 昌裕(医学系研究科)]

第8回 (6/3) 「『女に抱かれた鶴』の謎:謎解きはフィールドワークのあとで」
(卯田 宗平/国立民族学博物館)

第9回 (6/10) 「未知の言語を話す人々のあいだでのフィールドワーク」
(田所 聖志/秋田大学)

第10回(6/17) 「ゴカイを食べて宇宙をみる:テーマと出会うフィールドワーク」
(古澤 拓郎/京都大学)

第11回(6/24) 「鳥の目と蜂の目:違う視点で農村をみる」
(大久保 悟/農業・食品産業技術総合研究機構)

第12回(7/1) 「フィールドでは『おもしろい』が全てに優先する」
(梅崎 昌裕/東京大学)

第13回(7/8) まとめ

